

　　支援をする人へ　ひとことアドバイス

改まった言い方ではなく、ごく自然な会話で手助けしてあげればいいと思います。

【身体障害】

「お手伝いしましょうか。」の一言が安心につながります。

このキャッチフレーズを。　　　　　　　　　　 【身体障害（肢体不自由）】

害のことのこと示を教えて下111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111気軽に声をかけてもらったらよいです。「何かお困りですか。」

誘導するときは、背中を押したりせず、半歩から一歩前を歩いてくれると安心。また、階段なども「降りますよ。」等声かけしてから進んでくれるといいです。

【視覚障害】

何が必要かをまず聞いて下さい。それからお手伝いしてもらえるといいです。

それぞれの障害について基礎的な知識を持ってもらえると良いです。

【聴覚障害】

困っている人は周りをキョロキョロ見たり、様子が違うと思うので、気づいたら「何かできますか。」と声掛けをしてほしい。お手伝いが必要ないときは「いりません。大丈夫です。」と言ってくれます。　　　　　 【知的障害・肢体不自由】

やさしい声かけと対応を。当事者に急な動作を要求するのはよくない。

パニック等の時は互いにけがをしないように対応してください。 【知的障害】

・急に声をかけたり、体をさわったりせず、まずはゆっくり話しかけてみてください。

ことばが通じないようであればカードや身ぶりなどで指示してみてください。

当事者を知っている人（先生、指導員など）に会えるよう手配してください。

【発達障害（自閉症）】

できる範囲で声かけしてください。　　　　　　　　　　　　　 【精神障害】

ヘルプカードを持っていれば、気軽に声をかけてあげてほしい。 【難病患者】

認知症の方には、やさしく、ゆっくり前から話しかけてください。 【認知症】